

平成十七年度 春季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「春」

期間 平成十七年二月一日～四月末

投句数 三、三三二句

特選三句

天

柳絮飛ぶ旅の半ばの源氏池

愛媛県西条市 岡田貞子

地

露座佛の背山はすでに木の芽どき

東京都八王子市 小倉寿子

人

ウインドに名刀光る梅日和

神奈川県横浜市 伊藤とく

入選二十句

大釜に湯の沸く浜や白子干

神奈川県鎌倉市

土山忠滋

鎌倉を気ままに歩く初ざくら

神奈川県厚木市

松尾憲勝

江の電の終車過ぎたる桜かな

東京都墨田区

作山泰一

地虫出づ虚子掛けられし石ほとり

神奈川県横浜市

柳沢栄蔵

雛の日立子の句碑にまみゑけり

千葉県浦安市

中村佳世

人力車はづみて行ける谷戸の春

東京都青梅市

青山重子

春疾風一の鳥居を吹きぬけし

東京都世田谷区

中村芳子

ほつほつと大地の鼓動梅開く

神奈川県横浜市

葭谷健一

海風の俄かに荒ぶ実朝忌

神奈川県横浜市

樺澤賢治

ぬかづけば天神の梅白ふなり

神奈川県座間市

吉倉幸雄

連山を一望に木々芽吹きけり

東京都多摩市

中山正喜

初蝶や北鎌倉の踏切に

神奈川県横浜市

鈴木基之

投句箱ある駅前や風光る

神奈川県三浦郡葉山町

沼田重吉

竹の秋すわ鎌倉の風ぬける

神奈川県横浜市

木暮友彦

段葛客待つ花下の人力車

福岡県福岡市

秋吉節女

バス停の笹目なつかしあたたかし

神奈川県横浜市

小島治彦

鎌倉の俳句ポストや囀れり

神奈川県三浦郡葉山町

熊谷郁子

つくばひに椿一輪紅こぼす

岩手県北上市

下田栄一

花散らす雨となりけり段葛

神奈川県逗子市

鶴田真守

きらめきて名も無き山の桜かな

熊本県熊本市

村上正子

(順不同)